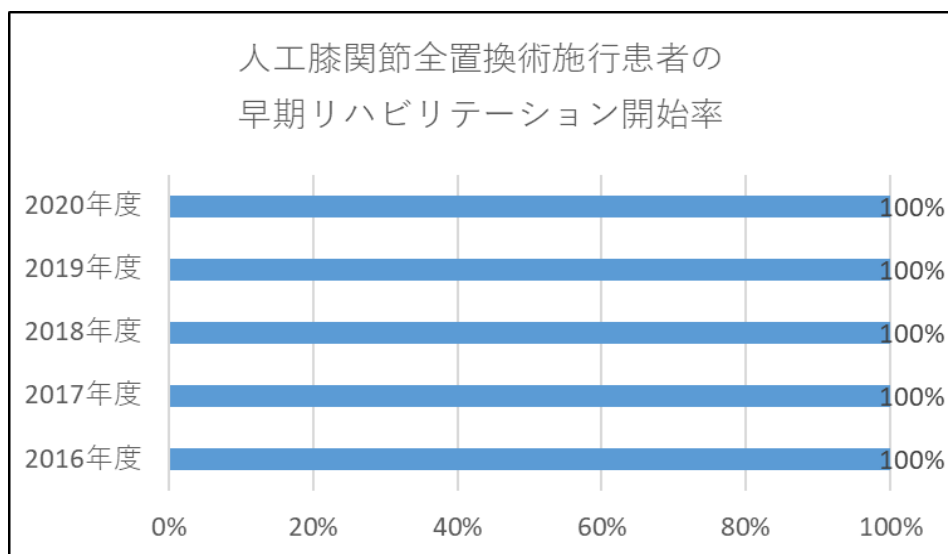


人工膝関節全置換術施行患者の早期リハビリテーション開始率

意義

人工膝関節全置換術後の過度の安静は、身体機能の回復を遅らせる原因となる。術後早期にリハビリテーションを開始することはガイドラインで推奨されており、下肢への静脈鬱滞を減少させ、深部静脈血栓症の発生頻度を低下させることにもつながる。ADL、QOLの維持のためにも、早期リハビリテーションを開始することが求められる。施設の体制によっては、理学療法士らによる専門的なリハビリテーションの開始が遅れる場合がある（開始日が休日に該当するなど）。



算出式

分子：分母のうち、術後4日以内に運動器リハビリテーション治療が開始された患者数

分母：人工膝関節全置換術が施行された退院患者数